

1. 川本町の概況と水道事業の沿革

1-1 川本町の概況

川本町は島根県のほぼ中央部で、東経 132 度 23 分～34 分、北緯 34 度 56 分～35 度 3 分の間に位置します。東西 16.5km、南北 13.5km で、その面積は約 106.39km² でほぼ菱形をしています。中央を中国一の大河江の川が貫流し町内を江北と江南に 2 分しています。

この江の川より、江北へ祖式川・三谷川・木谷川、江南へ矢谷川・濁川の計 5 本の支流が流れ出ています。江北は平均高度 200m 以下の準平原であり、それに対し江南は 600m 級の山々が複雑な地形を形成しています。川本町の 81.6% は山林で占められています。



—島根県—



—川本町—

川本町の歴史は古く、縄文時代後期にはすでに人々が生活していたと推定されています。キタバタケ遺跡発掘調査結果からは、江戸時代に到るまでの生活の跡を見ることができます。江戸時代には、現在の川本町は銀山領の中心として宿場町、港町として栄えていました。明治5年に邑智郡役所が置かれ、明治20年代にかけて市街地が形成され官公署、事業所、金融機関が集積するようになりました。

昭和2年に川本村が町制を施行し、以後昭和30年の町村合併を経て昭和32年に現在の川本町となりました。

昭和59年に島根県が打ち出した「まちむら活性化対策事業」を契機に、川本町が全国に誇る文化資産「音楽」を活性化戦略の冠とし、豊かな心、創造、調和を基本理念として「**縁にこだます音楽の里計画**」を策定しました。



江津～川本を結んだ飛行船(昭和2年 町制施行記念絵(はがきより))

1-2 水道事業の沿革

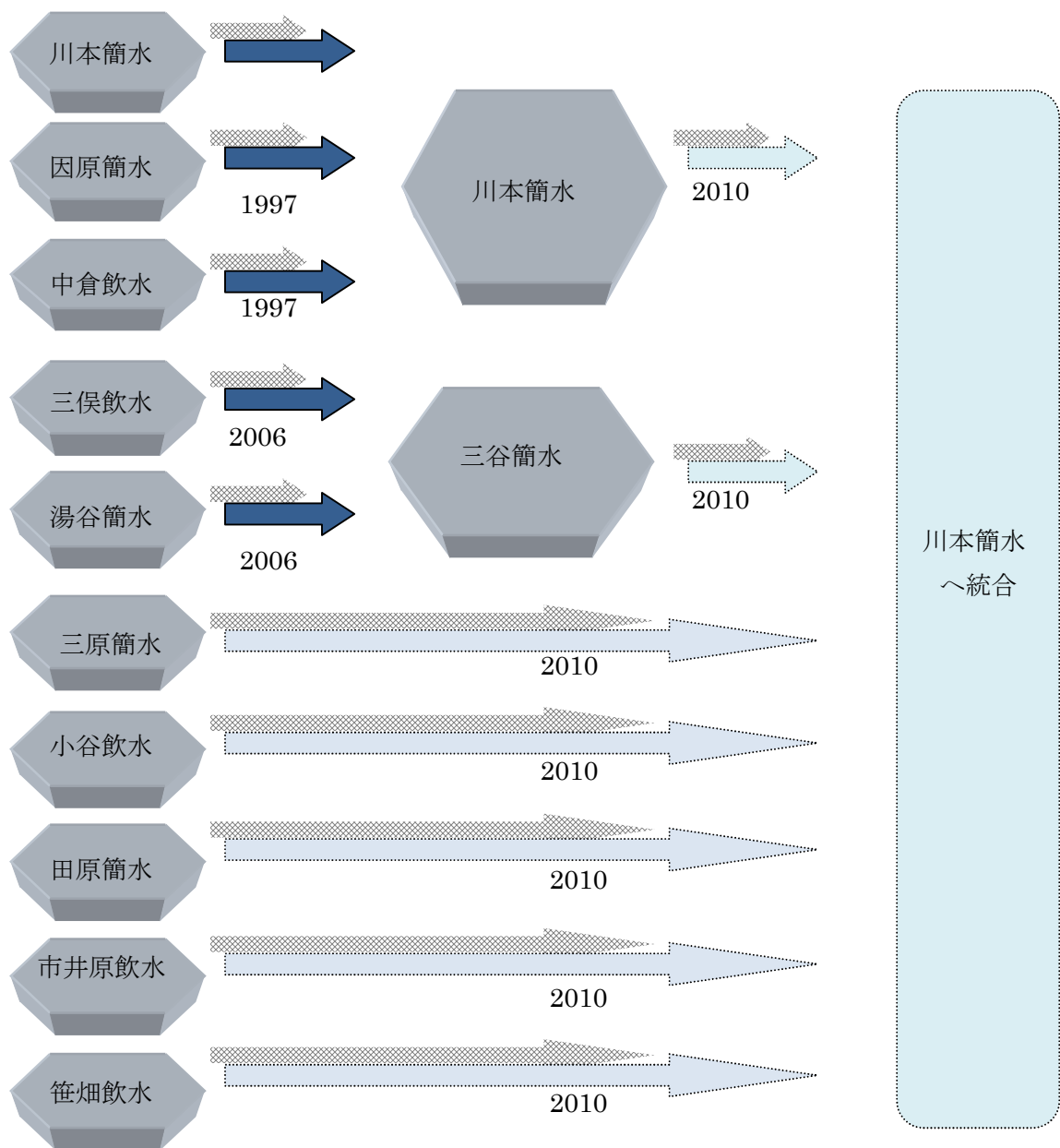
本町は昭和 32 年に現在の川本町となりました。水道事業の沿革をまとめました。

川本町水道事業の沿革

年(西暦)	水道名称	認可年月日	給水人口 (人)	計画一日 最大給水量 (m ³ /日)
(川本簡易水道事業)				
S31	(1956) 川本上水道事業(創設)	S31.3.15	5700	1192.0
S32	(1957) 川本上水道事業(変更)	S32.12.11		
S34	(1959) 川本上水道事業(第1期拡張)	S34.3.31	6500	1462.0
S35	(1960) 川本上水道事業(第2期拡張)	S35.12.20	6500	1462.0
S41	(1966) 川本上水道事業(第3期拡張)	S41.4(起工)	6500	1462.0
H9	(1997) 川本簡易水道事業(第3拡張変更)	H9.12.8	3050	1322.1
(因原簡易水道事業)				
S38	(1963) 因原簡易水道事業(創設)	S38.3.30	900	146.3
S44	(1969) 因原簡易水道事業(拡張)	S44.9.8	1100	176.3
S59	(1984) 因原簡易水道事業(変更)	S59.10.26	(志谷水源増補)	
H9	(1997) 川本簡易水道へ統合	H9.12.8		
(三原簡易水道事業)				
S4	(1966) 三原簡易水道事業(創設)	S41.3.31	1200	205.5
S50	(1975) 三原簡易水道事業(第1拡張)	S50.7.28	1440	241.5
	三原簡易水道事業(第2拡張)		920	241.5
H4	(1992) 三原簡易水道事業(第3拡張)	H4.6.11	(第3水源増補)	
H13	(2001) 三原簡易水道事業(第4拡張)	H13.1.19	820	329.6
(三俣飲料水供給施設)				
S46	(1971) 三俣飲料水供給施設(創設)	S46.8.25	97	14.6
S59	(1984) 三俣飲料水供給施設(第1拡張)	S59	97	19.4
H18	(2006) 三谷簡易水道へ統合	H18.2.2		
(湯谷(三谷)簡易水道事業)				
S48	(1973) 湯谷簡易水道事業(創設)	S48.2.21	160	35.0
H18	(2006) 三谷簡易水道事業(第2拡張)	H18.2.2	160	56.0
(小谷飲料水供給施設)				
S42	(1967) 小谷飲料水供給施設(創設)	S42.7.3	78	12.0
(中倉飲料水供給施設)				
S45	(1970) 中倉飲料水供給施設(創設)	S45.9.28	98	14.7
H9	(1997) 川本簡易水道へ統合	H9.12.8		

年(西暦)	水道名称	認可年月日	給水人口 (人)	計画一日 最大給水量 (m ³ /日)
(田原飲料水供給施設)				
S49	(1974) 田原飲料水供給施設 (創設)	S49.8.19	79	11.9
(市井原飲料水供給施設)				
H3	(1991) 市井原飲料水供給施設 (創設)	H3.5.24	80	20.0
(笹畑飲料水供給施設)				
H10	(2002) 笹畑飲料水供給施設 (創設)	H10.3.10	83	66.7

また、施設の統合が以下のように行われました。



川本町の水道施設

川本町の水道事業は、簡易水道事業が3事業、飲料水供給施設が4事業の合計7事業です。今回の計画はこの7事業を平成22年3月に統合することを視野に入れ現状分析・将来計画を行っていきます。

区分	川本簡易水道	三原簡易水道	三谷簡易水道	小谷飲料水供給施設	田原飲料水供給施設	市井原飲料水供給施設	笹畑飲料水供給施設
計画1日最大給水量 (m ³ /日)	1,322.1	329.6	56.0	12.0	11.9	20.0	66.7
計画給水人口 (人)	3,050	820	160	78	79	80	83
現在人口 (人)	2,427	631	154	41	41	60	62
創設年月日	S31.3.15	S41.3.31	S48.2.21	S42.7.3	S49.8.19	H3.5.24	H14.9.13
最終変更年月日	H9.12.8	H13.1.19	H18.2.2	S42.7.3	S49.8.19	H3.5.24	H14.9.13

また、その他の事業として、組合営の簡易給水施設が5箇所あります。これらの事業は地元の意向によりこのままの体系を維持しますが、水道事業との協働、連携をはかりつつ運営していきます。

事業名	計画給水人口	現在給水人口
谷戸小集落簡易給水施設	43	17
木屋原地区簡易給水施設	45	15
築柴原地区簡易給水施設	37	10
日向地区簡易給水施設	33	19
谷戸水道組合簡易給水施設	65	28

